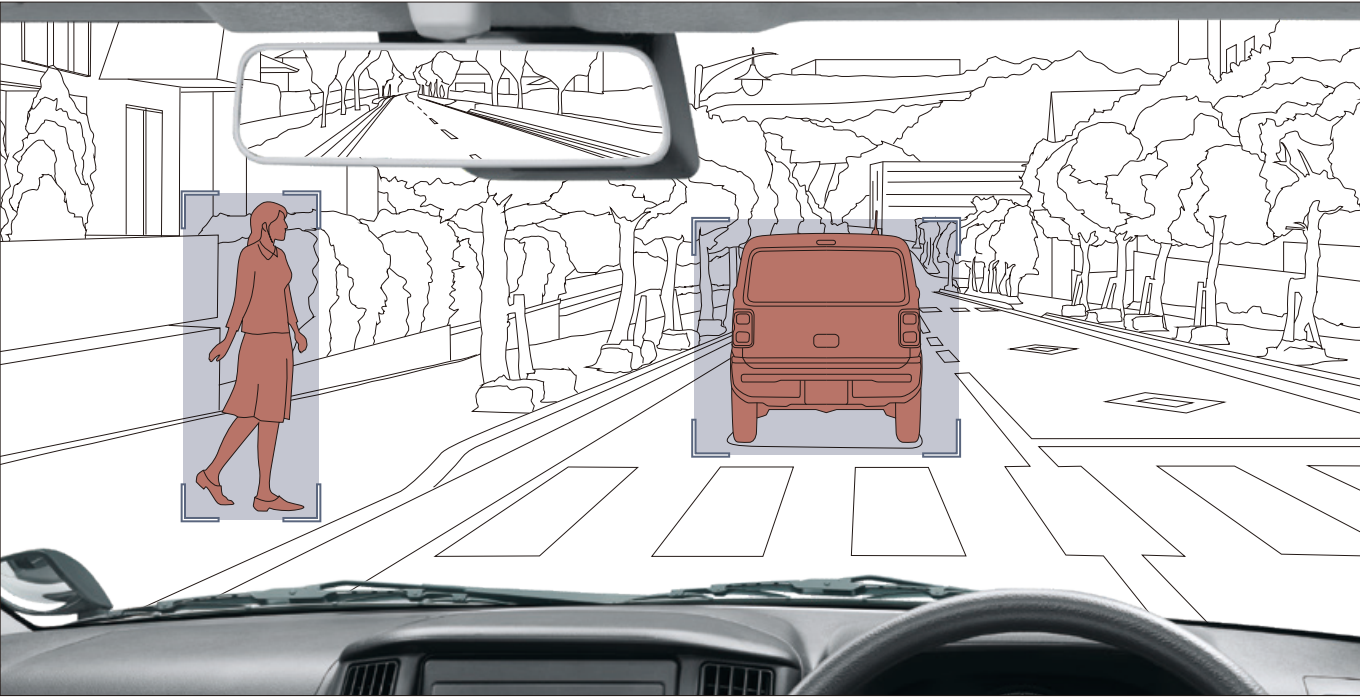



毎日の安心を支える、充実の先進安全技術。





安全運転サポート車（サポカーS・ワイド）に該当

経済産業省や国土交通省などが普及啓発を推進している、高齢者を含む運転者を先進安全技術で支援し交通事故防止を図る「安全運転サポート車（サポカーS・ワイド）」に該当しています。サポカーS・ワイドは、被害軽減ブレーキ（対歩行者）、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを搭載した車です。

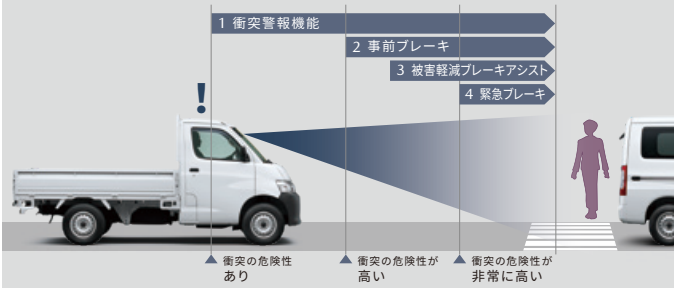
※衝突回避支援ブレーキ機能、車線逸脱警報機能、ブレーキ制御付誤発進抑制機能（AT車のみ）、オートハイビーム装着車。詳しくは本ページをご覧ください。


衝突回避支援システム（スマートアシスト）



① 衝突回避支援ブレーキ機能（対車両・対歩行者〔昼夜〕）、
衝突警報機能（対車両・対歩行者〔昼夜〕）運転支援機能

走行中に前方の車両（二輪車、自転車を含む）、歩行者（昼夜対応）を認識し、衝突の危険性があると判断した場合にドライバーへ注意喚起。さらに危険性が高まった場合には緊急ブレーキで減速。衝突の回避や、衝突時の被害軽減を図ります。標準装備：全車

■衝突回避支援ブレーキ機能、衝突警報機能作動イメージ図



1 衝突警報機能			
走行中に前方の車両や歩行者をステレオカメラが検知し、衝突の危険性があると判断した場合、ブザー音とメーター内表示で警告します。			
	作動条件	ブザー音	メーター内表示
対車両 ^{※1}	約4～約120km/h ^{※2} 走行時	ビビビビビッ	 点滅
対歩行者 ^{※3}	約4～約60km/h走行時		

3 被害軽減ブレーキアシスト			
事前ブレーキが作動している時にドライバーがブレーキペダルを踏み込むと、ブレーキアシストが作動し、ブレーキ制動力を高めます。			
	作動条件	ブザー音	メーター内表示
対車両 ^{※1}	約30～約120km/h ^{※2} 走行時	ビビビビビ...	 点滅  点灯
対歩行者 ^{※3}	約30～約60km/h走行時		

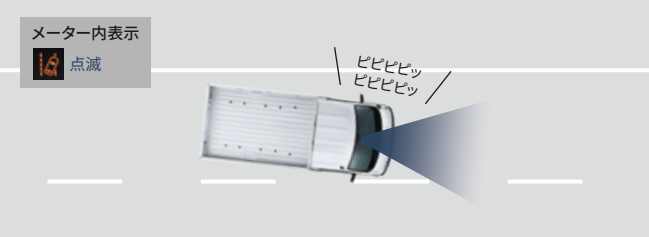
※1 二輪車、自転車含む。※2 公道を走行するときは、法定速度、制限速度を順守してください。※3 昼夜対応。
※状況によっては、衝突回避支援ブレーキ機能が作動せず、衝突の回避、被害の軽減ができない場合があります。※衝突回避支援ブレーキ機能作動中にアクセルペダルを踏んだ場合などには、作動を解除する場合があります。※衝突回避により車両停止後、衝突回避支援ブレーキ機能が解除されます。AT車はクリープ現象により前進しますので、停止後は必ずブレーキペダルを踏んでください。また、MT車はエンジンを停止します。ただし、クラッチペダルを踏んだ状態では停止しません。※衝突回避支援ブレーキ機能は、電柱、壁などに対しても作動することがありますが、これらへの衝突を回避することを目的としていません。※歩行者が大きな荷物を持っている場合など、ステレオカメラが歩行者として正しく認識できない場合は作動しません。※車両、二輪車、自転車、歩行者の割り込み、飛び出しには対応できません。※被害軽減ブレーキアシスト機能は、速度差が約30～約120km/h（対歩行者の場合は約30～約60km/h）で作動します。

② 車線逸脱警報機能

約60km/h以上で走行中にステレオカメラが車線を検知している場合、道路上の車線から逸脱しそうになると、ドライバーへ警報し、逸脱回避操作を促します。標準装備：全車

※道路上の車線がかすれていたり、汚れていたりしている場合は、作動しません。
※ターニングナル（方向指示灯）を使用している時は作動しません。

■車線逸脱警報機能作動イメージ図



③ ブレーキ制御付誤発進抑制機能〔前方〕運転支援機能

約10km/h以下で障害物を認識後、踏み間違い（アクセルペダルを強く踏み込んだ場合）を判定してエンジン出力を抑制し、ブザー音とメーター内表示で警告。さらに、障害物に衝突する危険性があるとシステムが判断するとブレーキ制御が作動します。標準装備：AT全車

■ブレーキ制御付誤発進抑制機能〔前方〕作動イメージ図



※エンジン出力を制限することで、急な発進を抑えます。※次の場合は作動しません。・ドライバーが回避動作（ステアリング操作など）を行った時・ウインカーONの時 ※次のような場合は、適切に作動しないことがあります。・前方の視界が悪い時（強い雨、吹雪、濃霧など）・フロントウィンドーに曇りや汚れがある時・障害物がガラスの場合・障害物がフェンスやレンガなど均一な模様を持つものの場合・障害物がまったく模様のない壁やシャッターの場合 など 詳しくは取扱書をご確認ください。※制御時間には制限があります。一定時間アクセルペダルを踏み続けるとアクセル操作に応じて加速しますのでご注意ください。※MT車にはブレーキ制御付誤発進抑制機能〔前方〕はありません。

④ 先行車発進お知らせ機能

信号待ちなどで前のクルマが発進したことに気づかない時、ブザー音とメーター内表示でお知らせします。標準装備：全車

※前方約10m以内の先行車が約3m以上進んでも自車が止まったままだとシステムが判断した場合に作動します。※AT車はブレーキペダルを踏んでいる時に作動します（シフトポジションが[P]・[R]の時は作動しません。[N]の時はブレーキペダルを踏んでなくても作動します）。※MT車は[R]以外でブレーキペダルを踏んでいる時に作動します。

■先行車発進お知らせ機能作動イメージ図



⑤ オートハイビーム

対向車のヘッドランプなど前方の明るさを検知し、ハイビームとロービームを手をわずらわせることなく自動で切り替え。先行車や対向車などがない時にはハイビームにし、遠くまで見通しを確保。安心感を高めます。標準装備：全車

※自車速度約30km/h以上で作動します。※ハイビーム・ロービームの切り替え自動制御には状況により限度があります。運転時にはつねに周囲の状況に注意し、状況に応じて手動で切り替えるなど、安全運転を心がけてください。

■オートハイビーム作動イメージ図



■スマートアシストに頼った運転は絶対に行わないでください。スマートアシストは、ドライバーの判断を補助し、事故被害の軽減を目的としています。脇見運転やぼんやり運転などドライバーの前方不注意を防止したり、悪天候時の視界不良下での運転を支援する装置ではありません。また、あらゆる状況での衝突を回避するものではありません。運転時は常に先行車や歩行者との距離や周囲の状況、運転環境に注意して必要に応じてブレーキペダルを踏むなど距離を保ち、安全運転を心がけてください。■スマートアシストの認識性能・制御性能には限界があります。ドライバーの運転操作、急カーブ、急勾配、雨などの道路状況、および天候によっては、システムが作動しない、または作動が遅れる場合があります。■雪、濃霧、砂嵐の場合や、トンネル内、夜間、日射しの状況によってはステレオカメラが障害物などを正常に認識できず、適切に作動しない場合があります。■作動条件下であっても、システムが作動しない場合があります。■このほか、スマートアシストについて重要な注意事項が記載されておりますので、詳しくは取扱書をご確認ください。■スマートアシストの詳細は販売会社におたずねください。

さまざまな状況に対応する多彩な安全装備。

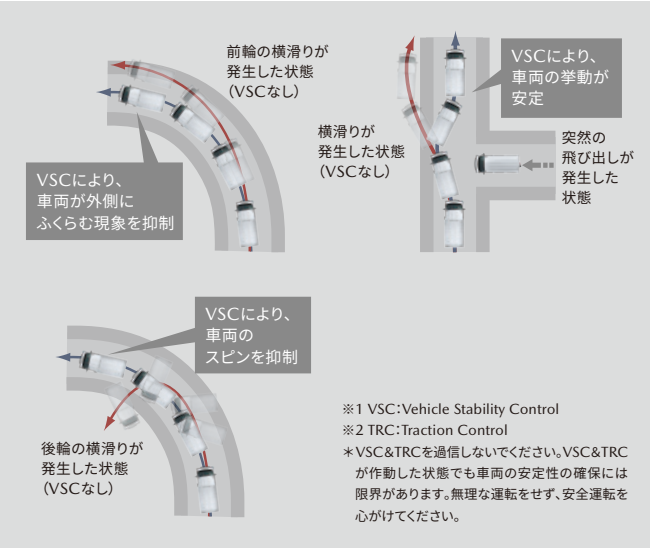
VSC※¹ & TRC※²

VSCは急なハンドル操作や、滑りやすい路面でのコーナリング時に横滑りが発生した場合、ブレーキとエンジン出力を自動的にコントロールして車両安定性を確保。TRCは発進・加速時にタイヤの空転を抑えて、アクセル操作をサポートします。[標準装備:全車]



■VSC OFF
スイッチ

■VSC作動イメージ図



衝突安全ボディ

乗員をできる限り事故から守るため、万一の衝突の際には、衝突エネルギーを効率よく吸収するフロントサイドメンバーを搭載。さらに、エネルギーをボディ骨格全体に分散させる工夫で、キャビンの変形を極力おさえることができる衝突安全ボディを採用しています。

[標準装備:全車]

LEDヘッドランプ(ハイ/ロービーム：
マニュアルレベリング[光軸調整]機構付)
+LEDクリアランスランプ

明るい白色光が運転しやすい視界をサポートする、マニュアルレベリング機構付のLEDヘッドランプを全車に採用。消費電力の低減、長寿命にも貢献します。[標準装備:全車]



オートライトシステム

車外の明るさに応じてヘッドランプなどを自動点灯・消灯し、夕暮れ時やトンネルの続く山道などで役立ちます。また、エンジンを切るとヘッドランプを自動で消灯。バッテリー上がりを防ぎます。[標準装備:全車]

LEDリアコンビネーションランプ
(テール&ストップランプ)

リアコンビネーションランプの赤色部(テール&ストップランプ)には、視認性の高いLEDランプを採用しています。

[標準装備:全車]



リアフォグランプ(運転席側)

雨、雪、霧など悪天候時に、後方からの視認性を高め、安全なドライブをサポートします。

[標準装備:4WD全車]

メーカーセッティングオプション:2WD全車



*リアフォグランプは運転席側リアコンビネーションランプの横に吊り下げとなります。

ドライブスタートコントロール

シフト操作時における急発進・急加速を抑制し、衝突時の被害軽減を図ります。たとえば、後退時に衝突して慌てたドライバーがアクセルペダルを踏んだままシフトを「R」から「D」へ変更した際、警告表示で注意を促すとともに急発進を抑制します。[標準装備:AT全車]

ヒルスタートアシストコントロール

登り坂での発進時、ブレーキペダルからアクセルペダルに踏み替える際、クルマの後退を軽減します。[標準装備:AT全車]



緊急ブレーキシグナル

車速約60km/h以上で走行中に強くブレーキペダルを踏んだ場合、ブレーキランプ点灯と同時にハザードランプが自動で高速点滅。後続車に注意を促します。[標準装備:全車]

積荷があってもパワフルでスムーズ、しかも低燃費。

2WD		4WD	
4AT	5MT	4AT	5MT
<div>WLTCモード 燃料消費率 (国土交通省審査値) ※3※4</div> <div>11.9km/L</div> <div>市街地モード:10.2km/L 郊外モード:12.0km/L 高速道路モード:12.7km/L</div> <div>JC08モード 燃料消費率 (国土交通省審査値) ※3</div> <div>15.1km/L</div>	<div>WLTCモード 燃料消費率 (国土交通省審査値) ※3※4</div> <div>12.9km/L</div> <div>市街地モード:10.9km/L 郊外モード:13.6km/L 高速道路モード:13.5km/L</div> <div>JC08モード 燃料消費率 (国土交通省審査値) ※3</div> <div>15.6km/L</div>	<div>WLTCモード 燃料消費率 (国土交通省審査値) ※3※4</div> <div>11.3km/L</div> <div>市街地モード:9.6km/L 郊外モード:11.6km/L 高速道路モード:12.1km/L</div> <div>JC08モード 燃料消費率 (国土交通省審査値) ※3</div> <div>14.0km/L</div>	<div>WLTCモード 燃料消費率 (国土交通省審査値) ※3※4</div> <div>12.4km/L</div> <div>市街地モード:10.6km/L 郊外モード:13.0km/L 高速道路モード:13.0km/L</div> <div>JC08モード 燃料消費率 (国土交通省審査値) ※3</div> <div>14.8km/L</div>

※3 燃料消費率は、定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用時等)に応じて燃料消費率は異なります。

※4 WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。

1.5L 2NR-VEガソリンエンジン

荷物を積んで停車と発進を繰り返す街中の走行(低中速域)では豊かなトルクを発揮。同時に、高速域では軽快な加速を実現しています。さらに、燃焼効率の向上と各部のフリクションの低減により、燃費性能と排出ガス性能の向上を図りました。[搭載グレード:全車]



全車



2WD車



4WD車



【総排気量】
1.496L

【最高出力】
71kW(97PS)/6,000rpm

【最大トルク】
134N・m(13.7kgf・m)/4,400rpm

アイドリングストップ機能

赤信号の手前など減速時約9km/hからエンジンを自動的にストップ※⁵。アイドリングストップ状態でもオーディオやナビの使用が可能です。空調は車内外の環境に応じて自動制御します※⁶。[標準装備:全車]

*MT車はニュートラル状態で停車時、クラッチペダルを離した場合にアイドリングストップとなります。



■アイドリング
ストップスイッチ

■アイドリングストップ機能作動イメージ図(AT車の場合)



※5 シフトがDポジションの状態ではブレーキペダルを踏み、車速約9km/h以下になるとエンジンが自動的に停止します(エンジン停止には、いくつかの条件があります。詳しくは販売会社におたずねください)。
※6 アイドリングストップ中のエアコンは送風となります。また、状況によってはエンジンを始動し、エアコンを作動させることで、快適性を優先します。